

▲多摩川スカイブリッジ

Kawasaki Ward

かわさき区の宝物の紹介はこちら

川崎区　宝物　検索

各区の散策コースやウォーキングマップの紹介はこちら

川崎市　ウォーキングのススメ　検索

健康づくりや介護予防に関するご相談
お問い合わせ

川崎区役所地域みまもり支援センター地域支援課　☎044(201)3214

編集／川崎区企業市民交流事業推進委員会
制作／㈱東邦プラン 改訂・印刷／(株)東邦プラン
発行／川崎区役所　令和7(2025)年3月第5版(令和2(2020)年7月初版)

問い合わせ／川崎区役所地域振興課　電話044-201-3127　FAX044-201-3209

川崎区

かわさき区魅力発見

宝物ウォーキング

Takaramono walking guide book

ガイドブック

見つけよう！まちにあふれる宝物。
楽しもう！健康づくり。



かわさき区を歩きませんか？

川崎区は大規模商業施設や最先端研究開発施設、環境先進企業の集積、厄除けとして有名な川崎大師、東海道五十三次の宿場町の一つである川崎宿の歴史など、魅力あふれる都市です。また、市の表玄関である川崎駅東口周辺地区には、文化・芸術の魅力を併せ持った中心市街地として、充実した都市機能を有しています。日本の近代化を支え、京浜工業地帯の中枢としての役割を担ってきた川崎区には、産業技術の発展の歴史を物語る、近代化遺産・産業文化財が数多く残存していることも区の魅力のひとつです。

この度、川崎区の魅力を発信する「かわさき区宝物ガイドマップ」と楽しみながら健康づくりをする「川崎区ウォーキングガイドブック」を統合し、新たに「かわさき区魅力発見　宝物ウォーキングガイドブック」を策定いたしました。みなさまに本ガイドブックを活用いただき、まちにあふれる「かわさき区の宝物」を見つけながら、楽しく健康づくりをしていただくきっかけとなれば幸いです。

かわさき区の宝物ってなぁに？

地元川崎区はもちろん、他の地域の方にも川崎区の魅力をアピールできるものを「かわさき区の宝物」とよんでいます。この「かわさき区の宝物」は、川崎区で暮らす人々（生活市民）と川崎区で働く人々（企業市民）から構成される「川崎区企業市民交流事業推進委員会によって選定されました。

本ガイドブックでは、これまでに発掘（選定）した「かわさき区の宝物」も一部紹介しています。本ガイドブックを参考に、「かわさき区の宝物」を訪ねてみてはいかがでしょうか？

もくじ

さあ、でかけましょう！（ウォーキングの準備について）…… 4
川崎区を知ろう！…… 6
川崎区オススメ9コース…… 8
❶ 東海道川崎宿をたどろうコース…… 10
❷ 市役所通りを歩こうコース…… 14
❸ 富士見公園 コース…… 16
川崎区ゆかりの人物紹介…… 18
❹ 川崎大師と大師公園散策コース…… 20
エリア特集：東扇島へでかけよう！…… 22
❺ キングスカイフロントへ行こうコース…… 24
❻ 浜川崎駅周辺を歩こう コース…… 26
川崎区のイベント・お祭り紹介…… 28
❼ 田島・追分周辺を歩こうコース…… 30
❽ 小田・新町緑地を歩こう コース…… 32
❾ 京町緑地を歩こう コース…… 34
ウォーキングを長く続けよう！…… 36
かわさき区の宝物はまだまだこんなにいっぱい！…… 38

●表紙の写真：川崎大師

さあ、でかけましょう！ ウォーキングの準備について

準備と心構え　本日の体調はいかがですか？

ウォーキング前にセルフチェックをしてみましょう。

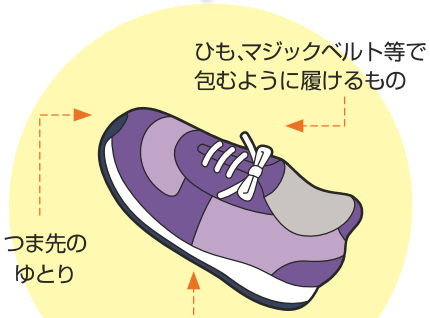


など、体調不良はないですか？

持ち物と事前の準備をチェック！

- ☑ 靴
- ☐ 飲み物
- ☐ タオル
- ☐ 帽子・替えのシャツ
- ☐ カメラ・携帯電話など
- ☐ 持病のある方：お薬・医師への相[redacted]
- ☐ リュック・時計・万歩計
- ☐ ウォーキングガイドブック
- ☐ 夜は反射材や懐中電灯

靴選びに注目！　子どもの靴選びのポイント

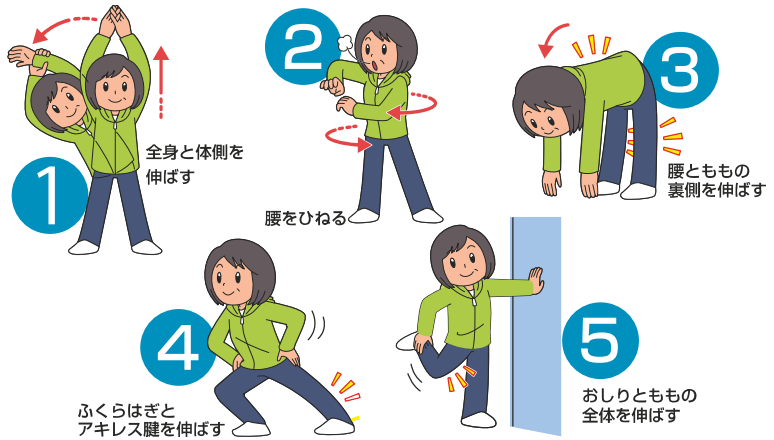




大きすぎたり、足の形に合わない靴は足の発達を阻害します。3~4ヶ月を目安にサイズを測り、適正なサイズを確認しましょう。

ストレッチ　歩く前と後にゆっくりと体を伸ばす

ケガや筋肉痛予防のため、必ず体をほぐしましょう。

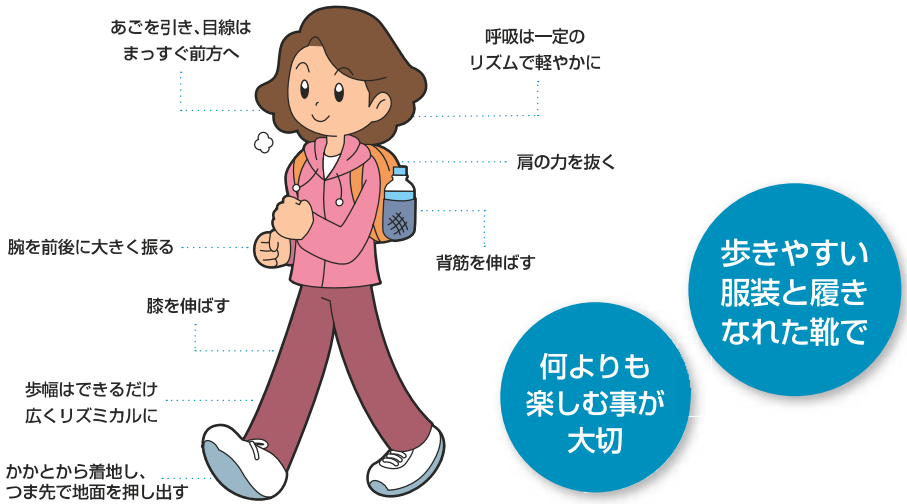


ポイント

- 息を止めずにゆっくり吐きながら
- 動作はゆっくりと気持ちのよい程度に
- 伸ばしている筋肉を意識して
- 10秒~20秒静止する

歩き方　ウォーキングのフォームについて

正しい姿勢と動きを意識しましょう。



歩きやすい服装と履きなれた靴で

何よりも楽しむ事が大切

特集 自分なりに探してみませんか 私のまちの宝物



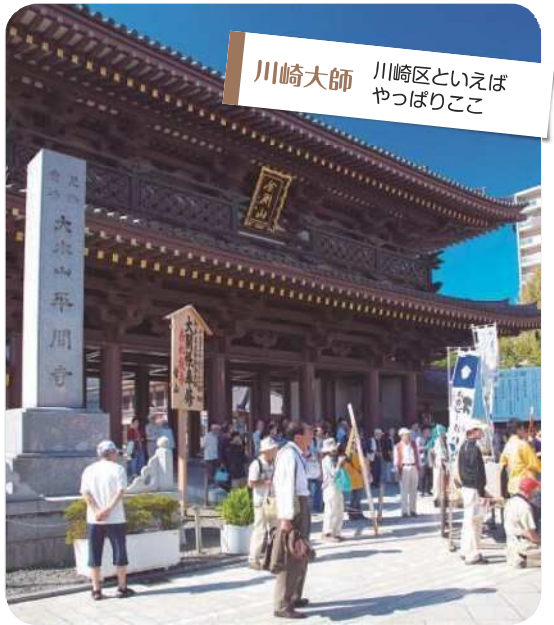
並木道 市役所前の いちょう並木も美しい



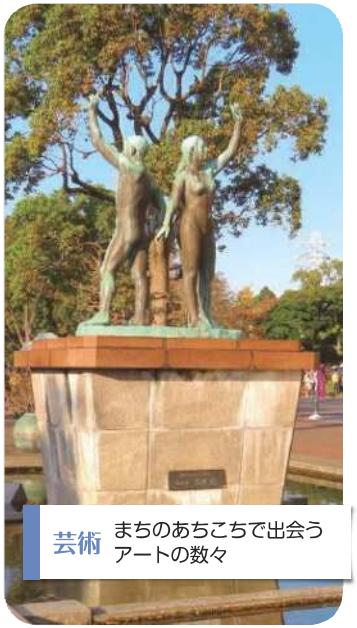
工場夜景 臨海エリアの産業観光は 今や全国区になりました



活気と熱気 エネルギッシュで 川崎らしい横顔です



川崎大師 川崎区といえば やっぱりここ



芸術 まちのあちこちで出会う アートの数々



公園 ふいに出会う まちのオアシス



多摩川 川崎の母なる流れ 素晴らしい開放感です

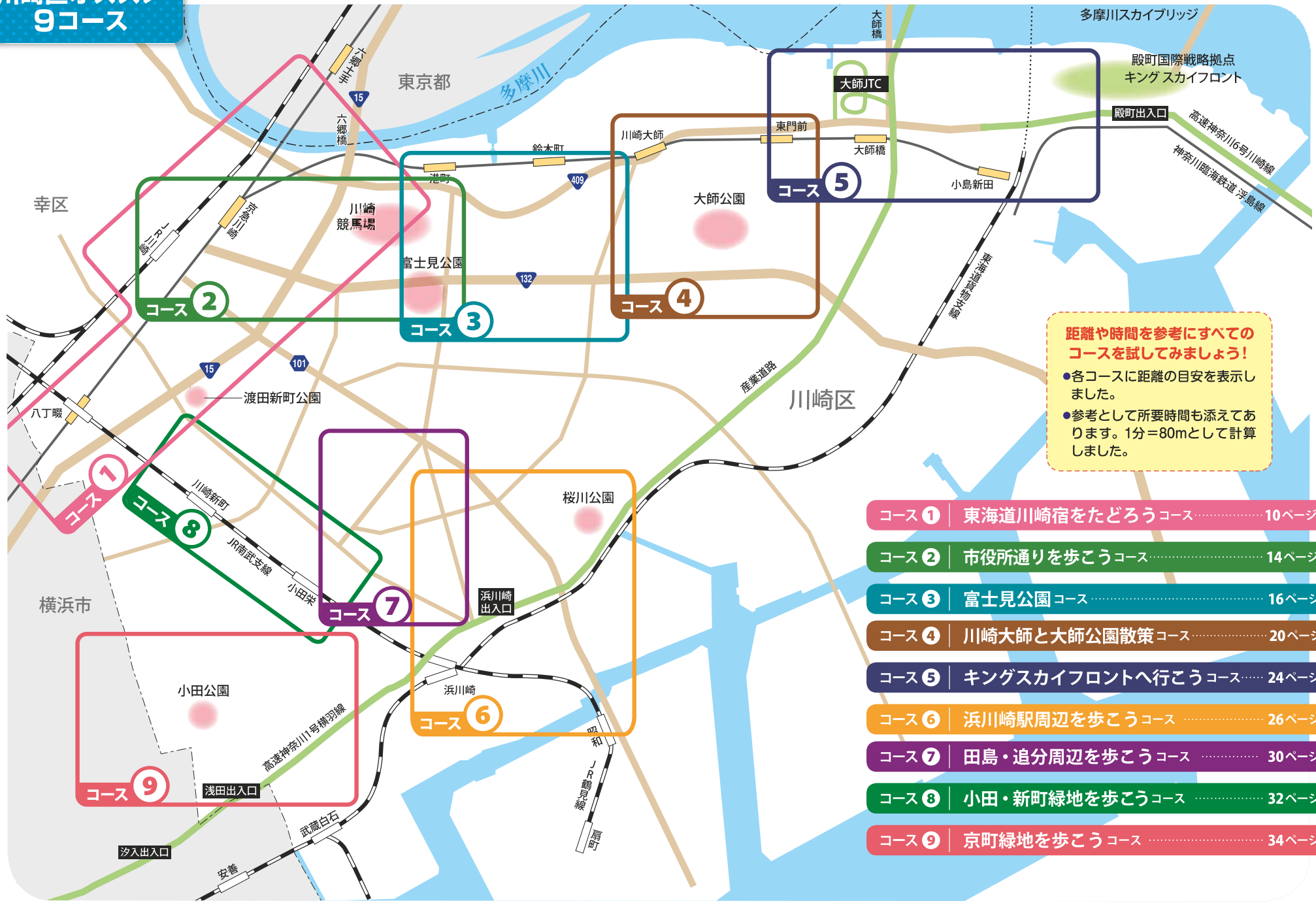


草花 可愛いワンポイントとの 出会いも楽しいね



歴史 長い積み重ねこそ 川崎らしさなのかも

川崎区オススメ9コース



距離や時間を参考にすべてのコースを試してみましょう！

- 各コースに距離の目安を表示しました。
- 参考として所要時間も添えてあります。1分＝80mとして計算しました。

コース1 東海道川崎宿をたどろうコース …… 10ページ
コース2 市役所通りを歩こうコース …… 14ページ
コース3 富士見公園コース …… 16ページ
コース4 川崎大師と大師公園散策コース …… 20ページ
コース5 キングスカイフロントへ行こうコース …… 24ページ
コース6 浜川崎駅周辺を歩こうコース …… 26ページ
コース7 田島・追分周辺を歩こうコース …… 30ページ
コース8 小田・新町緑地を歩こうコース …… 32ページ
コース9 京町緑地を歩こうコース …… 34ページ

コース 1

東海道川崎宿をたどろうコース

コースの目安／約3.9km(約49分)　スタート：京急川崎駅 ⋯▸ ゴール：八丁畷駅

東海道川崎宿とは？

東海道川崎宿は元和9(1623)年、品川・神奈川両宿の伝馬負担を軽減するために開設された宿場町です。
令和5(2023)年に、東海道川崎宿起立400年を迎えました。



COLUMN コラム

行ってみよう！東田公園「コミュニティーハウスさくら」

東田公園「コミュニティーハウスさくら」では、体操、ダンス、武道、パソコンなどの教室が開催されているほか、サークル活動等で気軽に場所を借りて活動が出来ます。また、区内で開催されるインドの伝統的な祭り(ラタジャトラ)などのイベントで会場として利用されています。詳細は管理団体HPで。

管理団体HPへ!!

所在地 川崎区東田町3丁目25

コース1 東海道川崎宿をたどろうコース

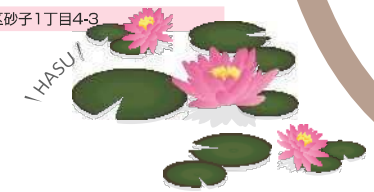


1 宗三寺



曹洞宗の寺。本尊は釈迦如来。鎌倉時代の僧、玄統が開山。川崎宿で最も古い寺である。境内にはかつて宿場の賑わいを支えた飯盛女（遊女）の供養塔があることでも有名。

所在地 川崎区砂子1丁目4-3



2 六郷の渡し・明治天皇の碑



江戸時代、東海道往来の際の要であり、幕府からの助成金によって常時10数隻の舟で旅人や荷馬を渡した。現在新六郷橋には欄干の渡船のモニュメントとともに渡船跡の碑と明治天皇六郷渡御碑が建てられている。

所在地 川崎区旭町1丁目3

3 田中本陣跡





寛永6（1629）年に川崎宿で初めて設けられた本陣。八代将軍吉宗の江戸入場の際、当主の田中休愚が三角形のおむすびを並べて「葵の御紋」に見立てて提供したといわれており、これが三角おむすびの発祥という説もある。

所在地 川崎区本町1丁目4-6付近

4 東海道かわさき宿交流館

江戸時代の東海道の宿場であった東海道川崎宿の歴史、文化を学び、それを後世に伝え、地域活動・地域交流拠点となることを目指して、東海道沿いに設置された施設。映像資料や模型の展示、まち歩きをされる方々が気軽に立ち寄ることができる休憩・交流スペースなどを設けている。（月曜休館。月曜が祝日の場合はその翌日が休館）

所在地 川崎区本町1丁目8-4





5 中間灯

東海道川崎宿起立４００年を記念し、「川崎宿起立４００年プロジェクト推進会議」により製作・設置された中間灯。中間灯とは、東海道沿道の道路照明等に「東海道川崎宿」又は「東海道」の文字と浮世絵（全１０種）をデザインした照明。夜になると行灯のような雰囲気を醸し出す。

所在地 東海道沿道





6 シャッター浮世絵

かつての東海道川崎宿にあたる通り沿いの店舗のシャッターに、地域の協力を得て、浮世絵を設置する取り組みを実施。シャッターには浮世絵が描かれ、江戸時代当時の東海道の賑わいを偲ぶことができる。



所在地 川崎区本町1～2丁目、砂子1～2丁目、小川町、日進町（東海道）、下並木

7 佐藤本陣跡・佐藤惣之助の碑

川崎宿にあった3つの本陣のうち（大名や公家専用の旅館）の一つ。大正時代に活躍した歌人で歌謡曲の作詞家としても有名な佐藤惣之助は、代々本陣職を務めてきた佐藤家の生まれ。本陣跡の向かいに記念碑が建っている。



所在地 川崎区砂子2丁目11（碑）・川崎区砂子2丁目4（本陣跡）



8 小土呂橋の親柱（擬宝珠）

小土呂橋は、かつて新川堀用水と東海道が交わる地点に架けられていた。昭和のはじめ新川堀の埋立により橋は撤去され、現在は交差点脇の歩道に親柱（擬宝珠）が保存されている。



所在地 川崎区小川町14-1



9 教安寺



浄土宗の寺。本尊は阿弥陀三尊立像。天文22（1553）年に創建。境内には「生き仏様」といわれた徳本上人の六字名号碑がある。江戸時代に作られた梵鐘も残っている。

所在地 川崎区小川町6-2

10 芭蕉ポケットパーク

平成17（2005）年に川崎宿のはずれにあたる場所に完成した松尾芭蕉をしのぶポケットパーク。付近は芭蕉が弟子達と別れを惜しみ句を詠み交わした所とされ、その年の秋に芭蕉は大阪で帰らぬ人となった。石盤にはこの時の7人の弟子たちの句が彫られている。



所在地 川崎区日進町24-15

11 芭蕉の句碑

「俳聖」松尾芭蕉の足跡をしるした句碑。芭蕉の句碑は数多くあるが、実際に句を詠んだ地に建てられた碑は少なく、大変貴重なものとされている。

所在地 川崎区日進町11-9

12 無縁塚

川崎宿を出て、横浜方面に向かう道を八丁畷と呼んだ。この付近では江戸時代から多くの人骨が発見されており、こうした無縁仏のために昭和9（1934）年に供養塔が建てられた。また、昭和45（1970）年頃より、毎年５月の第４日曜日に地元下並木町内会による御供養が続けられている。

所在地 川崎区下並木（京急八丁畷駅敷地内）





コース2 市役所通りを歩こうコース

コースの目安／約2km(約25分)　スタート：JR川崎駅 ……→ ゴール：労働会館前(バス停)

スタート JR川崎駅

1 川崎浮世絵ギャラリー





「川崎・砂子の里資料館」が所蔵する約4,000点に及ぶ浮世絵コレクションを展示。会期ごとに50～70点程を入れ替えながら展示予定。

所在地 川崎区駅前本町12-1　川崎タワー・リバーク3階

2 銀柳街



銀柳街は、市役所通りと新川通りを結ぶ昭和24(1949)年5月に小売店など10店が集まって興した商店街。

所在地 川崎区駅前本町・砂子2丁目

3 銀座街



銀座街は、京急川崎駅前にあり、駅から市役所通りに抜けるメインロードと市役所通り沿いのL字型の商店街。

所在地 川崎区駅前本町・砂子1丁目

4 川崎市役所 本庁舎



令和5(2023)年6月に完成した新庁舎。地上25階・地下2階からなり、25階の展望ロビー・スカイデッキからは川崎市一帯の景色を一望できる。

所在地 川崎区宮本町1番地

5 旧六郷橋親柱(稲毛公園)



大正14(1984)年まで多摩川に架かっていた旧六郷橋の親柱。

所在地 川崎区宮本町7 稲毛公園内

6 稲毛神社



武の神とされる武甕槌神(たけみかつちのかみ)を祀った古社。

所在地 川崎区宮本町7-7

7 川崎ハローブリッジ



平成5(1993)年3月、全国初のエレベーター付き立体横断歩道橋として国道15号と市役所通り・富士見通りの交差点に完成した。

所在地 国道15号線と市役所通りの交差点

8 カルッツかわさき



スポーツ・文化・レクリエーション活動の拠点として整備され、平成29(2017)年10月にオープンした。

所在地 川崎区富士見1丁目1-4

ゴール 労働会館前(バス停)※

※**川崎市バス**［川04］［川05：東扇島循環］［川07］［川10］［川13］［川15：小田栄循環］［川17］
臨港バス［川02］［川03］［川12］

COLUMN コラム 川崎競馬場に行こう！

平成28(2016)年2月にリニューアルオープン。大きな商業施設が併設され、子ども向けのトイレやプレイスポットなどもあって、競馬開催の有無に関わらず楽しめる施設です。





所在地 川崎区富士見1丁目5番1号



コース3 富士見公園コース

コースの目安／約3km(約38分)　スタート：港町駅 ⋯▶ ゴール：労働会館前(バス停)

スタート 港町駅

1 「港町十三番地」の歌碑



日本コロムビアより発売された美空ひばりさんの「港町十三番地」は、今の港町を歌った曲と言われている。

所在地 川崎区港町1

2 醫王寺（医王寺）



春光坊法印祐長が延暦24(805)年に開山したという古刹。戦国時代には当地領主間宮豊前守信盛の祈願所ともなっていた。

所在地 川崎区旭町2丁目4-4

3 伊勢町商店街



商店街の最寄駅である「鈴木町」駅は、味の素川崎事業所の出入口前に位置している。「鈴木町」の名は味の素の創業者・鈴木三郎助に由来。

所在地 川崎区伊勢町11-16

4 中島八幡神社と正岡子規の句碑



川崎大師に参詣した際に詠んだとされる正岡子規の句碑が立っている。

所在地 川崎区中島2丁目15-1

5 富士見公園





川崎市に最初にできた都市型公園。「全国都市緑化かわさきフェア」開催に合わせて令和6(2024)年10月19日(土)にリニューアルオープン。誰でも利用できる芝生広場や、公園を訪れる子どもが楽しく安心して遊べるスポーツ広場・遊びの広場がオープン。
さらにカフェやペットサービス等の店舗も併設されている。

所在地 川崎区富士見1丁目1-6

ゴール 労働会館前(バス停)※

※川崎市バス［川04］［川05：東扇島循環］［川07］［川10］［川13］［川15：小田栄循環］［川17］
臨港バス［川02］［川03］［川12］



コラム リヴァリエB棟カフェギャラリー

日本コロムビア株式会社川崎工場跡地には、現在高層マンション「リヴァリエB・C棟」がそびえる。B棟カフェギャラリーには、日本コロムビア株式会社より寄贈されている蓄音機・レコード・CDプレーヤーなどレコードの歴史を物語る品々が展示されている。
※カフェギャラリー以外のマンション区域は立入禁止です。



所在地 川崎区港町5-2

ピックアップ 銭湯につ いて

川崎区内にはたくさんの銭湯があり、ウォーキングを終えた体を休めるのにも最適です。中には実際に「温泉♨」を使ったものも！立ち寄ってみてはいかがですか。

かわさき銭湯どっと混む　検索



特集 かわさき区のゆかりの人物

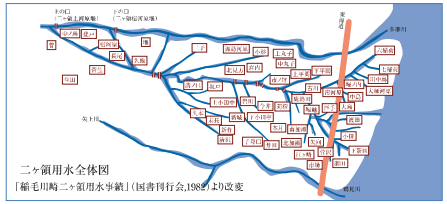
多摩川初の農業用水路を完成

小泉 次大夫（こいずみ じだゆう） 1538年~1623年

水利土木技術を代々受け継ぐ家に生まれた小泉次大夫は、天正18(1590)年徳川家康の家臣として江戸に入り多摩川の治水奉行に任命される。当時の多摩川は度重なる大洪水の影響で村々は荒廃していた。人々の苦しい生活に胸を痛めた次大夫は、家康に農業用水路の開削と新田開発を進言した。

慶長2(1597)年、次大夫は世田谷・六郷領(現在の世田谷区・大田区)の「六郷用水」と、稲毛・川崎領(現在の多摩区~川崎区)の「二ヶ領用水」の開削に着手し、以後14年かけた大工事を指揮し、多摩川で初めての農業用水路を完成させた。この時次大夫は74歳を迎えていた。

現在、用水路としての役割を終えた二ヶ領用水は、住民の水に親しむ空間、地域のシンボルとして地域に溶け込んでいる。




小泉次大夫夫妻の逆修塔（生前に建てられた墓）と次大夫像（川崎区妙遠寺）


現在の二ヶ領用水（宿河原付近）


小泉次大夫と田中休愚の二人の偉業を讃え建てられた「泉田二君功徳碑」(妙遠寺)

多摩川の治水工事の功労者

田中 休愚（たなか きゅうぐ） 1662年~1729年

22歳で川崎宿の本陣職・田中家の娘婿となった休愚は、45歳で田中家を相続、六郷川の渡船権を獲得し、財政難にあえぐ川崎宿を見事再建した。大著「民間省要」が八代将軍吉宗に認められ、幕府の治水事業に大きな貢献を果たす。小泉次大夫による完成の後、すでに110年余りが経過していた二ヶ領用水の大改修工事や、多摩川下流の築堤工事などを完遂した。この工事によって、今も延々と続く多摩川下流の堤防の基礎がつくられた。休愚の功績は、全国の治水工事にも大きな影響を与えたといわれている。

一介の農民から町人、武士、さらに三万石支配の代官職にまで立身出世を果たした異色の民政家、地方(ぢかた)巧者として名高い。今日の川崎の発展の礎を築いた最大の功労者のひとりに数えられる。


現在の多摩川下流堤防(鈴木町)

池上新田の開発と殖産興業に尽力

池上 幸豊（いけがみ ゆきとよ） 1718年~1798年

12歳の時に亡くなった父幸定の跡を継ぎ大師河原村の名主となった幸豊は、算数や農業、天文など和漢の書に学び、国益にたった殖産興業を強く志すようになった。そしてかねてから幕府に願い出ていた新田開発の許可を得ると、宝暦6(1756)年に沿岸部の開拓に着手する。767両余りの費用と6年の歳月をかけて面積14町5反余(約143ha)の新田が開発され、宝暦12(1762)年に完成した新田は「池上新田」と命名された。

幸豊は新田開発以外にも、製塩や芒硝(火薬の原料)、養魚、ニンジン栽培、ナシ・ブドウの果樹栽培、和製砂糖の製造と関東諸国への製法伝授の行脚など殖産興業に多大な貢献を果たし、また文人としても貴重な記録や随筆などを残した。

汐留稲荷で祭神として祀られるとともに、功績を讃える「池上幸豊翁之碑」が建立されている。


「池上幸豊翁之碑」(汐留稲荷)

初代川崎市長

石井 泰助（いしい たいすけ） 1865年~1931年

石井泰助氏は川崎宿の材木商石井家の長男として生まれ、幼名を泰次郎と称した。石井家は吹田屋という屋号で材木の販売ほかに機械製材や山林事業を手掛けていたほか、地域有数の地主でもあった。

26歳で泰助を襲名、明治28(1895)年に川崎町会議員に初当選し、明治30(1897)年以降町長を3期務めたのち、大正13(1924)年に初代川崎市長に当選した。

明治末期に自己の所有地を安価に企業に提供したり、地域の地主の土地買収の斡旋を行うなど、昭和4(1929)年に退任するまで大企業の工場進出の積極的な誘致を進め、川崎の工業化に大きな役割を果たした。

市役所に程近い稲毛公園には、その功績を称えた石碑が設置されている。


石井泰助称徳碑

人生劇場、六甲颪の作詞

佐藤 惣之助（さとう そうのすけ） 1890年~1942年

大正から昭和初期にかけて活躍した佐藤惣之助は、代々川崎宿砂子の本陣職を務め、明治維新後は雑貨商「藤屋」に転じていた佐藤家の次男として明治23(1890)年12月3日に生まれる。東京麻布の商家に丁稚奉公に出ていた12歳の頃から俳句を始め、劇作を経て、詩作へと活動の中心が移った。大正5(1916)年、25歳で処女詩集『正義の兜』、翌年には『狂へる歌』を出版、以後生涯にわたり22冊の詩集を刊行した。

コロムビアレコード社の専属作詞家として、歌謡曲『男の純情』『人生劇場』『人生の並木道』などがヒットし、佐藤惣之助の名はより知られることとなる。『赤城の子守唄』『六甲颪(おろし)』は特に有名。


「佐藤惣之助の碑」(カルッツかわさき内)


「佐藤惣之助の碑」(稲毛神社内)

日本で唯一人の全米No.1歌手

坂本 九（さかもと きゅう） 1941年~1985年

川崎区生まれ。昭和29(1954)年川崎市立川崎小学校卒業。日本の代表的な歌手で、『上を向いて歩こう』『見上げてごらん夜の星を』『涙くんさよなら』などのヒット曲が多数ある。

特に、『上を向いて歩こう』は『スキヤキ』というタイトルで、その年のアメリカで3週連続ヒットチャート第1位を獲得、世界中で今までに2千万以上のヒットを記録した唯一の日本の名曲である。世界的に有名になった最初の日本人歌手として今も親しまれている。





坂本九さん解説板(川崎小学校前)